

【 その他 】

No	質問	回答
1	一連の対策にかかる予算はどれくらいか。	仮設増築棟の建設費でおよそ6億9千万円の見込みです。その他、代替運動場の整備や給食の運搬などにも費用はかかりますが、現段階では詳細は決まっていない状況です。
2	第二校舎の敷地に中学校を建設し、現在の晴海西小・中学校の敷地に大規模な小学校を建設する考えはなかったのか。	晴海地区の人口増加にあたっては、「小学校2校分、中学校1校」の整備が必要であるとの考えの下、まずは小学校1校と中学校1校を整備しました。将来的には小学校が狭隘化すると推計していたことから、もう一つの小学校は人口動態を見ながら開設時期を判断するとしていましたが、開校まもなく狭隘化するような推計結果ではありませんでした。したがって、晴海五丁目に建設する学校については、小学校と中学校が一体となった学校を整備したものです。
3	今年度4歳になる子どもは毎年通学する校舎が変わることで心理的負担も大きいと思うが、何か対応策は考えているのか。	たしかに負担となる部分もあるかと思いますが、今年度4歳になるお子さんは、小学校3年生のときに第二校舎に通学してもらうこととなります。小学校3年生は第二校舎における最高学年であることから、第二校舎の使い方や低学年児童との関わり方などを自分たち自身で考えてもらい、リーダーシップを発揮できるチャンスとして捉えていきます。
4	通学区域の変更は検討したのか。例えば、新入生を他校に通学させるなどして児童を分散させるような方法は検討しなかったのか。	他校のキャパシティの問題もあり、通学区域の変更は難しいです。今後、改築等により他校の学校規模が大きくなれば変更の検討を進められるかと思いますが、現時点で検討できる状況ではありません。
5	代替運動場を整備する敷地に仮設増築棟を整備すればいいのではないか。	代替運動場を整備する敷地は、第二校舎を整備する敷地です。代替運動場の敷地に仮設増築棟を整備したとしても、仮設増築棟の使用を開始する令和9年度には第二校舎の建設工事を行っており、工事が本格的に進んできた段階で仮設増築棟が使用できなくなってしまう。 また、体育館等の利用に際して既存校舎への移動が必要となり、授業の実施に係る学校運営上の負担が大きいです。以上のことから、代替運動場を整備する敷地に仮設増築棟を整備することは困難です。
6	仮設増築棟ができた際に、子ども一人あたりの運動場の面積は他校と比較してどのくらいか。	仮設増築棟の整備により既存校舎の運動場面積はたしかに小さくなりますが、代替運動場を整備することで児童生徒の運動スペースを確保できることから、他校と比較して過剰に小さいというわけではありません。

No	質問	回答
7	特認校で他校への進学を希望した際、優先的に入学できる等の配慮はしてもらえるのか。	本計画による優先枠については検討していません。仮設増築棟においても、十分な教育活動を受けられるような環境を確保していきます。